

12月のメッセージより

「今日ダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主なるキリストである。(『ルカによる福音書』2章11節)

12月はこのみ言葉を中心にメッセージが語られました。イエス様のお生まれになる預言はまだ見ぬ旧約聖書の時代の人々に信じられ、そしてついにお生まれになるその時代も、母となるマリア、マリア婚約者ヨセフ、そして羊飼、博士たちがこの御使いのお告げを信じました。ヘロデ王すら信じたからこそ、自分の地位が脅かされると思ってイエス様の命を狙いました。このメッセージは、この時代に生きる私たちにも神様が聖書を通して語っておられるメッセージです。イエス様を知っているあなたはきっと世の中の、キリスト抜きのクリスマス会に空しさを感じたでしょう。人々はなぜ、あえてイエス様を避けるのでしょうか。イエス様が私たちを救うためにこの世にお生まれになったことを信じることは、とても優しいことなのに。

1日 (木曜日) 元旦礼拝 10:30~

一年の初めての日に、私たちの救い主イエス様に礼拝を捧げましょう。

4日 2004年最初の教会学校です。礼拝の中で、1月生まれのお友達のお誕生祝福のお祈りがあります。

その他 高校3年生のお友達の中には、そろそろ卒業後の進路が決まった人もいるのでは? 決まった人の喜びも、これからの人のドキドキも、みなでお祈りして分かち合いましょう。

ちなみに、私(村上真理子)は、高校の卒業式と第一希望の大学の試験最終選考が同じ日時でした。でも、卒業式のほうに出席できてしまいました。そして卒業式に姿のない友達を思うと、かなり落ち込みました。でも、だからこそ今の私があると思うとき、神様のご計画は不思議だなぁ、と毎年この時期になると懐かしく思い出します。

12月のメッセージ予告

	聖書箇所	あらすじ
4日	使徒 9:1~31	パウロは「何故私を迫害するのか」という天からのイエス様の声を聞きました。
11日	使徒 10:1~11:18	イエス様の福音を受け入れる人は誰でも救われることをペテロは知りました。
18日	使徒 11:19~30	「キリスト者」という言葉は、歴史上、ここで初めて使われました。
25日	使徒 13章	パウロが第一回伝道旅行へ旅立ちました。さて、その行き先は・・・?